

## 会議結果（要旨）

会議名	第8回 余市町地域公共交通検討委員会
開催日時	令和3年12月10日 午後1時30分
開催場所	余市町役場 302号会議室
出席者	委員：出席11名 欠席0名      オブザーバー：2名
会議内容	1. 開会 2. 委員長の選出について（資料1） 3. 協議事項 （仮称）余市循環線実証運行結果と本格運行に向けた検討      （資料2） 4. その他 5. 閉会
議題	別紙のとおり
出された意見等 （要旨）	<p>■委員長の選出 千葉委員を委員長に選出</p> <p>■協議事項 （仮称）余市循環線実証運行結果と本格運行に向けた検討 ※資料2により事務局から説明後、以下の意見等あり。</p> <p>【質疑等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西部方面から協会病院に向かうため、乗り換えが必要になる路線設計の理由はどのようなものか。        ➡輸送数として少なかったこと、他路線との競合路線であったこと、1便当たりの路線長を考慮したこと、国補助の要件として重複区間を避けることなどがあった。しかしご意見として不便になったとの意見があったため、駅前のバス停の集約化や、乗り継ぎ時間の調整などを考えなくてはいけない。</li> <li>・乗り継いだ場合の料金設定について        ➡現在乗り継いだ場合トータルの運賃が高くなるため、検討していく。</li> <li>・今後の計画の時期などどうなるか。        ➡計画通り令和4年4月1日から本格運行をできるよう進めている。また、令和4年に郊外部の交通について検討し、必要な場合は令和5年度に試験運行を行う。</li> <li>・資料にタクシー事業者の収益維持とあるが、計画の郊外部の部分にその意味があるのであれば2年先の話になる。2年間の救済という点について何かあるか。        ➡コロナの影響もあり、タクシー事業者も非常に厳しいという話は伺っている。具体的には申し上げられないが、何かソフト的な取組など、もう少しタクシー事業者さんと町の経済などいろいろなものを結び付けた施策ができないか模索している。</li> </ul>

**【意見等】**

- ・ 交通事業者はあつて当たり前の事業者でないことを理解しておく必要がある。
- ・ 計画内の郊外部交通がタクシーだとしても、タクシー事業者は1.2年先のことを考えている余裕はない。早急なアクションが必要である。
- ・ タクシー事業者の存続もなされなければ困る。
- ・ バス・JRと新型コロナウイルス感染症の影響により公共交通の業界は危機的状況にある。公共交通は結局人が乗ることによって維持できるため、人が乗るように周知をしていかなくてはいけない。
- ・ 駅前のバス停を含めた交通体系の整備も早急にする必要がある。
- ・ 地域公共交通網形成計画の周知をお願いしたい。
- ・ 循環線の本格運行だが、18時台が乗降者少なくなったものの、現在は新型コロナウイルス感染症の関係で、紅志高校の下校時間が通常とは違う状態だったと思われる。
- ・ スクール便についてこれまで融通が利いた部分が定時路線となることに不安を感じる。
- ・ 協会病院線との対比がもう少しなされると分かりやすい。

※札幌運輸支局より以下の主旨の助言あり

- ・ タクシーの相乗り運賃の割り勘のやり方など示されているのでこういったところも我々から情報共有していく。
- ・ デマンドや有償運送として先走ること、町内の交通事業者がなくなった事例も多くあり、なくなってからその有難みに気づくとならないよう、協力して着地点を見つけていきたい。

※事務局より以下の趣旨の提案

- ・ 今回の協議内容を踏まえ、次回協議会に運行案を提出する。
- 以上により閉会